



かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 理事長 高橋 徹
鳴門シーガル病院 院長 福永 明広

シーガル病院

記事紹介

- 理事長新年のご挨拶 — 1面
- クリスマス会 ————— 2面
- 瀬戸地区人権文化祭 — 2面
- 避難訓練 ————— 3面
- 配食サービス ————— 3面
- 給食だより ————— 3面
- 院長新年のご挨拶 — 4面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

その意味するところ、松下幸之助氏は、「『今年、去年のままであってはならない。今日は、昨日のままであってはならない。そして、明日は、今日のままであってはならない。万物は、日に新た。人の営みもまた、天地とともに、日に新たでなければならぬ。立ち止まってはならない。』ということだ。」と言っております。

皆さん、新年おめでとうございます。 「令和」最初のお正月は、如何でしたか。 「日に新たに、日々に新たに、また日新たなり」と言う言葉があります。 中国の古典「四書五経」の中の『大学』に出てきます。



さて、「子年（ねどし）」の今年は、十干十二支で言うと「庚子（かのえ・ね）」であり、「新たな生命がきざし始める状態」を指し、「全く新しいことにチャレンジするのに適した年」と言われております。

当社会福祉法人小渦会にとっても、今春には、「多機能型支援事業所ジョイナス」がオープンいたしました。まずは、これまで関係者の念願であった「就労支援」や「相談支援」という分野で、障害福祉サービスを開始します。

今後、当法人の創立百周年（二〇二五年）に向けて、障害者の福祉の向上に携わる「社会福祉法人」として、障害者の皆さんが、「自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援する」ため、引き続き、「就労支援」、「相談支援」や「共同生活援助」事業の充実と、「自立生活の援助」機能の充実など、今年も一歩進化した取り組みを進めていかなければならないと思っております。

当社会福祉法人小渦会にとっても、今春には、「多機能型支援事業所ジョイナス」がオープンいたしました。まずは、これまで関係者の念願であった「就労支援」や「相談支援」という分野で、障害福祉サービスを開始します。

当法人の患者さん・利用者皆さんには、そうした進化・新しい取り組みへの深いご理解とご協力を。そして、職員の皆さんには、これまで以上のご労苦をお願いいたしますとともに、自らも先頭に立って「思いやり」の心・「柔らかい心」を常に忘れず、「日に新たに」取り組んで参ります。

社会福祉法人 小渦会
理事長 高橋 徹



今年も、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



イベント

クリスマス会を開催しました

令和元年12月19日(木)、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。会場はクリスマスツリーや綺麗な電飾などがたくさんあり、クリスマスモード色の会場で開催されました。

今回のクリスマス会は、各病棟ごとに出し物が披露されました。ハンドベルや歌謡ショーなどクリスマスにピッタリの出し物のほか、医局の先生方は「パプリカ」を振り付けを交えながら熱唱されました。普段は見られないショーに、患者さんも歓声と手拍子をしながら観覧し、どの出し物も大好評でした。

会の終盤には〇×クイズや、クイズの景品としてクリスマスプレゼントも用意され、今回のクリスマス会も大盛況で終わることができました。



地域交流

瀬戸地区人権文化祭について

令和元年11月28日(木)～11月30日(土) 鳴門市の瀬戸公民館にて瀬戸地区人権推進協議会文化祭が開催されました。地域の方々の作品のほか、当病院からも陶芸作品など、人権をテーマにした作品が多数展示されました。一部ですが、展示した作品を掲載します。



シーガルニュース

避難訓練と消火訓練を行いました

令和元年10月30日(水)、鳴門シーガル病院で避難訓練と消火訓練が行われました。

今回は火災を想定した訓練で、外の避難場所まで避難する訓練を行いました。また、練習用の消火器で消火訓練を行いました。



地域交流

配食サービスを行いました

令和2年1月7日(火)、鳴門市瀬戸町堂浦にお住まいの高齢の方を対象にお弁当を届ける「配食サービス」を行いました。

自治会の方々にもご協力いただき、今回も多くの方々に喜んでいただきました。



給食だより

令和2年1月の行事食は新年を迎えるに相応しい食事を提供し、患者さんに大変喜んでいただきました。提供した食事の由来や写真を紹介します。

*おせち料理(正月) 1月1日

「おせち」とは「お節供(おせちく)」の略で、季節の変わり目の節句行事で作られるごちそうや、神に供えるすべてが「おせち料理」でしたが、節句の中で最も重要な正月料理をさすようになりました。



*雑煮 1月1日~3日

年神様に供えた餅や野菜を元日の朝に下げ、煮て食べたのが雑煮の始まりです。白みそ仕立てのお汁になっています。



*七草粥(七草) 1月7日

「春の七草」と呼ばれる七種類の野菜を炊き込んだおかゆを食べると、その年一年、病気にならないといわれています。旧暦の新年は現在の2月頃で、野山に新芽が出る季節。七草粥はその強い生命力を体に取り込む意味がありました。

*ぜんざい(鏡開き) 1月10日

供えておいた鏡餅を1月11日に雑煮やぜんざいにして食べる行事。健康や繁栄を願います。お餅のかわりに、さつまいもが入ったぜんざいです。



*小豆粥(小正月) 1月15日

小豆粥を炊いて家族の健康を祈る習わしがあり、無病息災と五穀豊穡を願います。

小豆のように赤い色の食べ物は、邪気を払うと考えられています。



新年のご挨拶

院長新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

恒例によりネットで調べたところ、2020年の干支は「庚子（かのえ・ね）」であります。干支は10種類の十干（じっかん）と、12種類の十二支の組み合わせで60種類が存在し、60年で一巡します。ですから、今年の干支は60年前、1960年と同じということになります。この年は何を隠そう私の生まれ年と一致します。当時の日本は4年後の東京オリンピックに向けて、日本中が盛り上がり高度経済成長の最盛期でした。今年もちょうど第2回目の東京オリンピックイヤーに重なりました。

「庚子」が表す意味は、新たな芽吹きと繁栄の始まりであり、新しいことを始めると上手くいく、大吉であると指し示しています。ということで当法人の、今年開始予定であります2大事業を紹介させていただきます。

一つ目は就労支援事業所の立ち上げです。訪問看護ステーション「スマイル」の施設を改装し、その1階部分に多機能型支援事業所「ジョイナス」を開設します。「ジョイナス」とは『仲間になろうよ』『一緒にやろうよ』といった意味になります。地域生活をしている患者さんの障害の程度に合わせて、その方に寄り添いながら、その方に合った就労支援をしていく予定です。

二つ目は、鳴門シーガル病院内でのr-TMS療法の導入です。r-TMSとは経頭蓋治療用磁気刺激装置のことです。うつ病患者さんには抗うつ薬による治療でもよくならない方が約30%存在します。こういった患者さんに対して脳への反復的な磁気刺激による新たな治療法が注目されています。ちょうど歯科用くらいの椅子に座ってもらい、アームのついたヘッドカバーを適切な部位に固定し、脳に上記刺激を約40分繰り返すといった

イメージです。その間テレビを観たりしてもかまいません。

この治療は6週間入院してもらい、週に5回の治療が原則です。難治性うつ病の患者さんに薬物療法とこの治療を併用して行った場合30~40%の寛解率が認められています。抗うつ薬が体に合わない方、何種類かの抗うつ薬を試したがよくなる方には待望の治療法だと思います。中四国では当院が初めての導入となります。今年4月から開始予定ですので、興味のある方は遠慮せず当院に問い合わせください。

当院は患者さんの期待に応えるべく、常に進化し続けようとしています。本年もどうかよろしく願い申し上げます。



院長 福永 明広

【編集後記】

令和初の新年がスタートいたしました。今年のかもめ便りは、さらに新しいイベントをたくさん掲載していきたいと思っております。本年も、よろしく願いいたします。

次号（『かもめ便り』第22号）は、2020年5月に発行の予定です。

広報委員会

社会福祉法人 小瀬会URL



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦（どうのうら）下車（所要時間20分）

● 直営渡船利用（所要時間2分）

◎ 渡船（無料）運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航（10分～30分間隔）しています。

TEL088-688-0011（代）

